

視 察 報 告 書

議員名	自由民主党 浦川 基継 北村 貴寿 坂口 慎一
-----	-------------------------------

下記のとおり、政務活動として視察を実施しましたので報告します。

日 程	令和 4年 8月 23日 から 令和 4年 8月 27日 まで (5日間)
視察の場所	ベトナム社会主義共和国 (ハノイ)
視察の目的	ベトナム人研修生送出体制の調査、長崎県とベトナムとの交流・友好関係の構築及び新型コロナウイルス感染症による影響調査
視察の内容 ・ 結果等	① AMD I 人材開発株式会社 (AMD I Manpower)
	(日時) 令和4年8月24日 15時
	(応対者) AMD I 社 : 副社長 NGUYEN NGOC TU 他 5名
	(内容・結果等) ベトナム人研修生の送出体制について AMD I 人材開発株式会社 (AMD I Manpower) は、アジア管理開発インスティテュートが前身であるAMD I グループの一社として、2020年8月にベトナム国労働傷病兵社会問題省より労働者海外派遣事業許可を取得した企業で、2021年12月22日には、日本への実習生送出事業に適した資格を持つ企業として推薦されている。 現在は、日本や韓国への研修生及び労働者の派遣を行っており、

送出業務も食品加工、電子・機械、建設、農業、介護など様々な業種に対応している。特に、実習生に対して、事前教育の実施に力を入れており、日本で円滑に生活して労働できるように日本語教育を実施していることはもちろん、送出国の基本情報、風習、習慣、ライフスタイル、法律に関する研修を行っている。また、「困難な人へ釣り竿を与える」ことをモットーとしており、単に労働力の輸出に止まることなく、今後、経済成長が見込まれるベトナム発展の為の人材育成、人材・技術を還元させることに取り組んでいる。特に、今後、ベトナム国においては急激な経済成長に伴う社会資本・インフラ整備が課題となることから、不動産や建設事業における技術の習得と自国への還元に力を入れている。また、今後は看護・介護需要も見込まれることから、看護師、介護福祉士の国家資格を取得させるプログラムにも力を入れている。まさに、ベトナム人労働者、ベトナム国内外の関係者の「成長と発展のための強固な力点」となることを使命として掲げ、日々の活動に取り組んでいる。

長崎県への送出しについては、ベトナムも経済成長を遂げ所得が上昇しつつある中で、そもそも、韓国は労働者、日本は実習生ということで賃金に格差が現状としてある。さらに、日本国内においても、首都圏、関西圏など給与水準の高い地域、あるいは京都など知名度のあるところへの送都希望が多い。長崎は、給与水準も低く、あまり知名度があるわけでもなく、他の地域と比較しても決して競争力が高いとは言い難い。しかし、給与水準のみが判断材料としてあるわけでもないとのことで、「安心して働けるかどうか」、「ベトナム人を受け入れるコミュニティがあるか」など、それらをカバーできるような付加価値を打ち出し訴求していけるかが課題である。

今年9月には、日本法人が設立され、視察時に同席された Vu H oi 氏が代表に就任された。今後、本県の各産業分野における人材、労働力の確保に資することができるように、今回構築した友好関係を維持、発展させていきたい。

② カオバン省とのオンライン会議（AMD I 人材開発株式会社）
(日時) 令和4年8月25日 10時
<p>(対応者)</p> <p>カオバン省（オンライン）：Hoang Thi Binh（ファン ティ ビン） AMD I 社：NGUYEN NGOC TU 他5名</p>
(内容・結果等) カオバン省との交流・友好関係の構築について
<p>AMD I 社の紹介により、ベトナムの国会議員で、カオバン省の科学技術協会連合会長の Hoang Thi Binh さんとオンラインで意見交換をする機会を得た。女史は、農業関係専門のエンジニアとしてカオバン省のプロジェクトに関わっており、同省の最重要人物のひとりと言うことができる。</p> <p>カオバン省は、中華人民共和国と国境を接するベトナムの東北部に位置している。地理的に中国との交流が多く、友誼関を通じた交流が行われてきたが、ここ数年は、新型コロナウイルス感染症対策による制限が行われている。人口は約53万人で、住民のほとんどが少数民族に属している。2018年には「ユネスコ世界ジオパーク」に指定され、近年は観光地としても注目を集めており、現在は、高速道路の整備が急がれている。これにより首都ハノイから3～4時間ほどでのアクセスが可能となる。主要産業は農業で、ジャポニカ米とインディアカ米をかけあわせた品種の水稲が行われている。これは、通常の食用米の2倍ほど（54,000ドン/kg）で取引をされている。昼夜の寒暖差が大きいのが特徴で、環境に配慮した農業がおこなわれており、農薬をほとんど使っていないため土壌も昔と変わっていない。山腹に連なる段々畑は、棚田で有名な長崎県の景色と通じるものがある。米の他には、ショウガの栽培も盛んに行われている。</p> <p>Hoang Thi Binh さんによれば、今後、農業加工技術の習得が課題であるということである。日本との交流拡大については、特にこの分野で、日本から帰還した人材の活用などに期待を寄せている。是非、農業と観光業が盛んである長崎県とも交流を深めていきたい。一度、カオバン省へ来てもらい、県議会交流などを行ってほしいとのことであった。</p>

③ JICAベトナム事務所

(日時) 令和4年8月25日 13時30分

(応対者)

次長：田中 章久

所員：森 義徳

中村 真由美

(内容・結果等) 日本の対ベトナム支援、友好関係の現状

ベトナムは急速な経済成長に伴い、都市地方間の格差や環境問題、社会資本・インフラの整備や保健医療の問題など新たな課題を抱えている。

外務省は、「対ベトナム国別開発協力方針」において、①成長と競争力の強化、②脆弱性への対応、③ガバナンスの強化に重点分野として取り組むことで、ベトナムの投資、貿易、ビジネス環境の改善を図り、我が国にとって、製造拠点、輸出市場、資源供給源としての可能性を有するベトナムとの経済関係の緊密化につながることを期待されている。

我が国は、ODAで約3兆円の援助を行っており、ノイバイ空港や空港と市内を結ぶニャタン橋の整備の他、現在は、ベトナムで初となる地下鉄「ホーチミン都市鉄道建設事業」などが実施中である。また、保健医療分野においては、ベトナム北部、中部、南部の3拠点病院の施設・機材の整備や国立衛生疫学研究所を含む施設の検診・診断能力の強化を行っている。なお、本県の長崎大学高度感染症研究センターとも連携しているとのことだった。さらに、2019年度からは、次世代リーダー育成の為、ベトナム政府幹部等を対象に、戦略的党幹部人材育成研修を実施して、将来的な日越の友好関係の構築に努めている。

友好関係の構築については、親日国であるベトナムの各地方都市と日本国内の地方公共団体が友好都市関係を結ぶ事例が増えている。民間の交流促進を支援する「草の根技術協力事業」など、両国の関係構築に資する事業の紹介を受けた。

④ 世界遺産ハロン湾
(日時) 令和4年8月26日 12時
(対応者) 現地ガイド1名
(内容・結果等) 観光地におけるコロナの影響等調査
<p>ベトナム北部、トンキン湾北西部に位置するハロン湾は、1994年にユネスコ世界遺産に登録されている。大小2000を数える奇岩が水面から突き出す景色が見られ、中でもティエンクン洞窟といわれる巨大な鍾乳洞がある。この近辺は、元々水上生活を営む民族が生活していたという。</p> <p>現地ガイドによれば、ハロン湾クルーズを行うクルーズ船は500隻以上があったが、コロナ禍により現在は半数以下になったということであった。また、沿岸に立つリゾート施設や住宅ビル等も建設途中のまま放置されている状態であった。欧米、豪州からの観光客は回復しつつあるということであったが、見かけた観光客のほとんどはベトナム国内からのようであった。土産物等を販売する商店もほとんどが閉店もしくは休業中という状況であり、飲食物を販売する露店1店舗があるのみであった。大規模開発中の観光地における新型コロナウイルス感染症による影響の大きさを推し量ることができた。観光業は裾野が広い為、その影響を与える範囲も大きいものがある。観光立県を掲げる本県においても参考とすべき状況であった。</p>

ベトナム社会主義共和国（ハノイ） 視察 訪問先



AMDI 人材開発にて



AMDI との意見交換



AMDI 人材派遣 日本語教室 生徒との意見交換



ベトナム カオバン省 議員とのオンライン 意見交換



カオバン省 国会議員 Hoang Thi Binh



AMD I 副社長との意見交換



JICA ベトナム事務所



JAICA ベトナム事務所にて意見交換





ハロン湾 世界遺産